

前回の報告書でも申し上げましたが、10月は試験やプレゼンテーションの多い月であり、また、2回の選挙を経たブラジルにとって重要な月でもありました。それぞれのテーマについて少し話し、私が叔母たちと一緒に訪れることができた場所を紹介します。

テスト・プレゼンテーション期間

一人で市場に買い物に行ったり、夜道を落ち着いて歩いたりすることに慣れた頃、私は大学の試験の週を迎えました。ある科目では、学期中に読んだテキストに関連したテストがありました。一方で、本の1章を30分程度で紹介する教室での発表もありました。

試験には、選択肢と論文形式の問題がありました。プレゼンテーションはスライドを使うか使わないかは自由でしたが、英語での発表は必ず必要でした。私の友人は授業で日本語のテストを受けたのですが、書く、話す、聞く、の3つがあると言っていました。言葉以外では、日本の試験とあまり違いは感じませんでした。それは科目や先生によるかもしれませんが…



ブラジルの選挙と政治

10月2日、叔母夫婦と一緒に彼らの故郷である Arujá へ行きました。そこで彼らは投票できましたが、私の投票カードが日本で登録されているため、自分の投票を有効化する必要があります。ブラジルの選挙は日本でしか投票できないということがわかりました。

前日、友人たちとパウリスタ通りを歩いていると政治的なプロパガンダをする熱心なブラジル人がたくさんいることにとても驚きました。候補者として、かつて元大統領だったルーラと、直近の大統領だったボルソナロがいたからです。ボルソナロとルーラが第1ラウンドで引き分けたように、31日に第2ラウンドを迎えました。ルーラが勝ちました。そして、現在ブラジルでは、今回の選挙で不正投票があったとされ、ボルソナロを支持する人たちによりデモがあります。もうひとつ、ブラジルで驚いたのは、(特に USP の)若者がブラジルの

政治に関心を持っていることです。学食の近くなど、学科の廊下を通ると熱心に今回の件について話している子を沢山見かけました。

叔母とお出かけ

少しシリアスな日もあった10月でしたが、実は同時に沢山お出かけすることができました！叔母はとても活発な人で、ちょっと危なかしいところもありますが、そういうところが面白くて大好きな人です。実は叔母とは今回の留学ではじめてお会いました。

定年を迎えた彼女は、私の相手をしてくれ、いろいろと楽しいところに連れて行ってくれました。まず、移民博物館で行われた移民パーティ (Festa da Imigração)の様子を写真で少しご紹介します。各国の様々な文化、食べ物、物、発表などを見ることができました。日本の太鼓の発表もありました！



次に、イピランガ・ミュージアム (Museu do Ipiranga)の写真を紹介します。どうしても行きたかったところなので、とても楽しみでした。そこでは、ブラジルの歴史や独立について詳しく知ることができました。ドン・ペドロが「独立か死か！」と叫んだときのペドロ・アメリカの有名な絵を近くで見ることができました。



最後に、彼女といとこに連れられて、Atibaiaのハロウィンランに行きました。

私の人生で最もクレイジーな一日だったと言えるでしょう。雨やあられの中で走りました！雨でびしょ濡れになりましたが、たくさん笑った日でした。幸いにも風邪をひきませんでした。Bandejão(学食)のご飯と豆で免疫力アップしたと言えますかね。:)

また、友達と出かけたり、元旦に亡くなった祖母のところに挨拶に行ったり、他の留学生と図書館で宿題をしたり、日本の移民博物館に行ったり...と、いろいろなことがありました。そして、いつの間にかもう3ヶ月も経っていました...残りの2ヶ月の留学生活を楽しみ、卒論の研究をし続けたいと思います！